

今後のスケジュール

平成26年5月20日

高 知 県

国土交通省 四国地方整備局

高知港海岸における地震・津波対策の事業化に向けた検討の進め方

○平成26年度予算に計上された国の調査を活用し、高知港海岸の地震・津波対策に係る「整備計画案」を策定する。

- ・ 本年5月に「高知港における地震津波防護の対策検討会議」（座長：磯部高知工科大副学長）がとりまとめる高知港における地震・津波対策の「計画方針」を受け、現地調査、整備手法の検討、環境や船舶航行への影響の評価・検証、コスト縮減方策の検討等を実施し、「整備計画案」を策定。

○策定した「整備計画案」に基づき、可能な限り早期の事業化を目指す。

<過去の経緯・今後のスケジュール>

24年度 国による「多重防護の有効性に関する調査」(高知港等でのケーススタディを実施)

⇒ 防波堤と防潮堤を組み合わせた多重防護の有効性を確認



25年6月に「高知港における地震津波防護の対策方針案」(三重防護)を公表

25年度～ 高知県・国共同による「高知港における地震津波防護の対策検討会議」

⇒ 高知港における地震・津波対策の「計画方針」のとりまとめ(本年5月20日)

26年度～ 国の調査を活用し、上記の対策検討会議において、高知港海岸の地震・津波対策に係る「整備計画案」のとりまとめ予定

(参考1)高知港における地震津波防護の対策方針案

津波防護には3ラインでの対策による「三重防護」が有効。

③浦戸湾内部護岸等のライン

- 地盤沈降等に対応した嵩上げや液状化対策を実施

②浦戸湾外縁部・湾口部のライン

- 地盤沈降等に対応した嵩上げや液状化対策を実施

①第一線防波堤のライン

- 粘り強い構造への補強等を実施

凡 例

- ①第一線防波堤のライン
- ②浦戸湾外縁部・湾口部のライン
- ③浦戸湾内部護岸等のライン

期待できる効果

第①ライン

- ・津波エネルギーの減衰
- ・高知新港の港湾機能の保全

第②ライン

- ・津波の浸入や北上の防止・低減

第③ライン

- ・護岸の倒壊や背後地浸水の防止等

出典：高知港における地震津波防護の対策方針案
高知県・四国地方整備局(2013年6月13日発表)

(参考2)高知港における地震津波防護の対策検討会議

- 目的：高知港において、「多重防護」の考え方の下、「最大クラスの津波」の襲来も想定しつつ、「発生頻度の高い津波」に対して、港湾及び背後地を効率的・効果的に防護するための対策のあり方について検討する。
- 設置日：平成25年11月8日
- 委員：高知工科大学 磯部副学長(座長)、高知大学 大年教授(故人)、高知大学 原教授、
独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域 富田領域長
- 関係者：高知県(危機管理部部長、土木部副部長)、高知市(防災対策部副部長、都市建設部副部長)、
四国地方整備局(港湾空港部、高松港湾空港技術調査事務所)
- 事務局：高知県土木部港湾・海岸課、四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所

第1回高知港における地震津波防護の対策検討会議(平成25年11月8日)

- ◆設置要綱の承認
- ◆設計津波と防護目標の設定



第2回高知港における地震津波防護の対策検討会議(平成26年5月20日)

- ◆高知港における地震・津波対策の「**計画方針**」のとりまとめ



引き続き「高知港における地震津波防護の対策検討会議」において「**整備計画案※**」を検討

※事業の計画的推進、事業効果の早期発現に資する詳細な事業計画で、以下の内容を想定

- 事業内容(全体事業費、施設の構造形式、整備工程、コスト縮減効果等)
- 整備効果
- 環境への影響の把握

今後の検討会議のスケジュール(案)

高知港における地震津波防護の対策検討会議

計画方針検討

第1回検討会議(平成25年11月8日)

- ◆設置要綱の承認
- ◆設計津波と防護目標の設定

第2回検討会議(平成26年5月20日)

- ◆地震・津波対策の「計画方針」のとりまとめ

第3回検討会議(平成26年秋頃予定)

- ◆整備計画案策定のための条件の設定

第4回検討会議(平成27年春頃予定)

- ◆整備計画案策定のための調査結果の中間報告

第5回以降の検討会議

- ◆地震・津波対策の「整備計画案」のとりまとめ

整備計画案検討

平成26年度
〜